

<<< JARL 信越地方本部 コンテスト委員会より >>>

今年もJA0-OSOならびにVHFコンテストにご参加いただき、ありがとうございました。委員会一同感謝申し上げます。皆様から寄せられているご意見について、コンテスト委員会の見解をお伝えいたします。

また、昨年度までの委員会からのコメントもぜひ再読お願いいたします。皆様からの御意見に対する回答が書かれている場合がありますので、重複する部分については一部省略させていただきます。

・書類の提出について

平成21年度より、両コンテストの書類提出をEメールでも受け付けております。紙の書類の低減ならびに郵送料節約等の目的で、ある程度皆様に浸透してきたのではないかと考えております。現在、書類提出局の約4割が電子ログによるものになっております。

平成25年度実績

OSO： 91局中 37局

VHF： 176局中 78局

電子ログ提出については、下記の注意事項を守っていただきますよう、あらためてお願いいたします。提出フォーマットは、OSOとVHFで異なります。

OSOはその規約の特殊性から、通常はJARL発行のログブック（業務日誌）と同様の形式で提出することになっております。したがって、電子ログによる提出の際も、こちらで印刷して同様の形式となるようなもの（エクセルもしくはpdfファイル）を使用してください。信越地方本部コンテスト委員会のホームページ内に、サンプルファイルを入れてありますので、こちらをご利用いただくと便利です。

VHFは、JARL指定の「電子ログ形式」がありますので、それに従ってください。形式はJARLのホームページ（コンテストのページ）内にあります。OSOと同様、印刷すると紙の書類と同様の形式になるものでお送りいただく方がおられますが、JARL指定の電子ログ形式のほうがはるかに単純で、簡単に作成できますので、そちらでお送りくださいますようお願いいたします。

平成26年度より、JARL本部主催のコンテストでは手書き以外の紙による書類提出は不可となります。ワープロ等で書類作成な方は電子ログ作成可能であろうという想定によるものです。これを機会に、ぜひ電子ログ作成に挑戦されてください。不明点等ございましたら、いつでも信越コンテスト委員会までおたずねください。

また、電子ログに限りませんが、エクセルやワープロソフトで書類を作成する際、明らかにコピー&ペーストの操作を誤ったために、交信局やナンバーの記載が間違っていると思われるものが散見されます。コンテストログは、交信時に手書きしたものを正として提出するのが本来の姿であったと思います。現在はPCロギングもあり一概には言えませんが、提出用書類の「清書」は間違いの起こりやすいところですので、十分ご注意ください。サマリーシートも含め、提出される前には、必ず見直しをお願いいたします。

・OSOコンテストについて

書類審査の際は、交信時の電文を一字一句照合しています。この中で、ミスコピーと思われる間違いがいくつか見られます。

例： 整備（セイビ）→ 整理（セイリ）、 荒波（アラナミ）→ 荒海（アラウミ）、等...

故意に聴き取り間違いを起こす？ような電文も、訓練になってよいのですが... 減点の対象となってしまいます。「もしも」の非常時を想定し、相手局からの電文を、思い込み無く正確に聴き取ることもこのコンテストの目的ですので、それを含めて楽しんでいただければと思います。

このコンテストはログの記載方法が特殊なため、なかなか記載不備がなくなりません。特に気を付けていただきたい点として、下記をぜひ守っていただきますようお願いします。

- ・ 相手局が先に電文を送信してきたときは、相手局を先に記載、次の行に自局の電文を記載。
- ・ 自局が送信した電文の行に○をつける

これで、交信した両局の書類を2行ずつ照合してチェックすることができるのです。

なお、OSOコンテストは、交信実績があっても書類提出が無いと、交信の相手局の得点が減点される規約になっております。VHFコンテストも含め、交信された方はぜひ書類の提出をよろしく願いいたします。

・VHFコンテストについて

第50回VHFコンテストで好評だった「電信部門」を、今後も継続することといたしました。このコンテストをぜひ練習台として、3アマは取ったが電信での交信をしたことがないという方も、ぜひ電信初交信を目指していただきたいと思います。

このコンテストでは、同一局と同一バンドでの交信は「いずれか1交信のみ」有効ですが、電話での交信の後に電信で交信し、電信でカウントしても構いません。電話で交信した際に「電信で交信しましょうか？」ということがあってもよいと思います。

電信によるコンテストの交信方法がわからない、という方がいらっしゃいましたら、ぜひ信越コンテスト委員会までご質問ください。自局と交信局のコールサインを交換し、あとはナンバーを交換するだけですので、もっともシンプルな交信です。またクラブの皆さんと、コンテスト前の事前講習会？を行うのも楽しいでしょう。

1局でも電信での交信実績があった局は、ぜひサマリーシートの意見欄に「電信部門」とご記入ください。通常の参加部門に加え、自動的に電信部門にも同時に参加することができます。

・賞品および参加証について

これまで数年をかけて関係者の皆さんと検討を重ねてまいりましたが、平成26年度より、表彰時の賞品につきましては各県支部によってその内容、基準を定めていただくことといたしました。今後は県毎に賞品の内容が異なる場合がありますが、ご了承ください。賞状の発行およびその基準は、従来どおり信越地方本部コンテスト委員会によります。

また、参加局（JARL会員局）全員にJARLビューロー経由でお送りしていた「参加証」ですが、平成25年度をもって発行を終了させていただきます。有難う御座いました。

・クラブ対抗への社団局の点数の加算について

本件について、以前ご質問をいただきました。クラブの社団局の得点をクラブ対抗に加算できるようにしてほしいというご要望ですが、現状、ひとりのオペレーターが個人局とクラブ局を運用し、事実上2倍の得点を得ているケースがあり、全体として得点の高くない？本コンテストでは順位に大きく影響するということで、今後も引き続き「クラブに所属する個人局」のみの得点を合計するということといたします。ご理解のほどよろしく願いいたします。

なお、JARL本部主催のコンテストの規約では、クラブ対抗に加算できるのは『シングルオペのクラブメンバー局および「マルチオペ1局まで」』と規定されております。ご参考まで。

・電子申請啓発QSOパーティー開催について

平成24年度に実施した「電子申請啓発QSOパーティー」ですが、規約を見直した上、平成26年度に第2回を開催できるよう計画しております。(11月開催を予定)

最終的に決定次第、JARL NEWS およびホームページ上に規約を掲載いたします。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

以上です。コンテスト委員会では、私たちとともにコンテスト運営にご協力していただける委員を引き続き募集しています。興味のある方はぜひご連絡ください。

2014年1月18日

文責：JROBAQ/西山 浩平 (JARL 信越地方本部コンテスト委員長)